

文化財探訪



下新井遺跡

下新井遺跡は、県営林業試験場の北西約0.8kmに位置し、相馬ヶ原扇状地の末端の台地上に立地している。昭和59年度のは場整備事業実施に伴い、道路、水路部分について村教育委員会が発掘調査したものである。

検出された遺構はほとんどが縄文時代後・晩期のものと思われ、調査区の中央部で二群の配石遺構、その東方で一軒の住居と敷石遺構、方形注穴列が認められた。また、配石遺構の西方では凹地を隔てて四軒の住居が認められている。この遺跡は中央を墓域に、その周囲に居住空間をもつ集落構造と考えられ、その範囲は140m四方に及ぶものと思われる。

遺物は土器、石器、などの生活用具と、土製耳飾り、土偶、石棒などの儀礼のためにもちいられた遺物も認められ、当時の人々の生活と精神生活を知るうえで県内でも稀に見る貴重な遺跡である。

広報しんとう 2010年6月号 Vol.472
 発行：榛東村役場 編集：総務課
 〒370-3593 群馬県北群馬郡榛東村大字新井790番地1
 ☎0279-54-2211
 ホームページアドレス <http://www.vill.shinto.gunma.jp/>

人口と世帯

	(5月1日現在)
総人口	14,754人(+38)
男	7,550人(+48)
女	7,204人(-10)
世帯数	5,058戸(+69)
	※()は対前月

村内の交通事故

	(5月末日現在の累計)
事故件数	23件(-5)
死者	0人(±0)
傷者	31人(-7)
	※()は前年同期対比
シートベルトは必ず着用しましょう	